

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成27年11月19日 (2015.11.19)

【公開番号】特開2015-178346(P2015-178346A)

【公開日】平成27年10月8日 (2015.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-063

【出願番号】特願2014-57353(P2014-57353)

【国際特許分類】

B 6 0 H 3/06 (2006.01)

E 0 2 F 9/16 (2006.01)

B 0 3 C 3/47 (2006.01)

B 0 3 C 3/28 (2006.01)

B 0 3 C 3/155 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 H 3/06 A

E 0 2 F 9/16 C

B 6 0 H 3/06 6 1 1 Z

B 6 0 H 3/06 6 3 1

B 0 3 C 3/47

B 0 3 C 3/28

B 0 3 C 3/155 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月11日 (2015.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 8 】

図 5 は本発明の除塵装置の他の実施の形態を示す端面図であり、このスクリーン 1 9 X は、第 1 のスクリーン素材 1 9 a , 1 9 a の間に第 2 のスクリーン素材 1 9 b を接触可能に設けたものである。本実施の形態においても、第 1 のスクリーン素材 1 9 a と第 2 のスクリーン素材 1 9 b との接触により 2 枚のスクリーン素材 1 9 a , 1 9 a が帯電するのみならず、第 1 のスクリーン素材 1 9 a とスリット 2 1 a に設けた摩擦部材 2 2 a が摩擦することにより、2 枚のスクリーン素材 1 9 a が帯電する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 2 】

図 8 は後方の吹き出し口 1 1 に設置する除塵装置の構成を示すものである。4 2 は P M 2 . 5 や花粉等の微粒子を除去するためのフィルタである。4 5 は、フィルタ 4 2 を取付けるため、吹き出し口 1 1 のスリット状の開口部 4 6 a , 4 6 b , 4 6 c を囲むように設けたベースフレームである。4 3 はフィルタ 4 2 を取付けるための取付け板であり、吹き出し口 1 1 の開口部 4 6 a , 4 6 b , 4 6 c にそれぞれ対応する開口部 4 3 a , 4 3 b , 4 3 c を有するものである。このフィルタ 4 2 は、開口部 4 6 a , 4 6 b , 4 6 c を覆うようにしてベースフレーム 4 5 内にセットし、フィルタ 4 2 上に取付け板 4 3 を重ねて開

口部 4 6 a , 4 6 b , 4 6 c と取付け板 4 3 との間でフィルタ 4 2 を挟持し、ベースフレーム 4 5 に螺合するねじ 4 4 により取付け板 4 3 をベースフレーム 4 5 に固定することにより、フィルタ 4 2 を交換可能に取付ける。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

図 9 は前方の吹き出し口 1 2 を示しており、この吹き出し口 1 2 に P M 2 . 5 や花粉等の微粒子を除去するための袋状のフィルタ 4 8 を被せ、バンド 4 9 により固定したものである。このフィルタ 4 8 もバンド 4 9 の着脱によって容易に交換可能である。また、空調装置の吹き出し口にフィルタ 4 2 , 4 8 を設ければ、空調装置 1 0 の内部に微粒子を除去するフィルタを設ける場合に比較して、空調装置の動力源が担う負担が小さくなり、燃費の削減が可能となる。